

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
316	日本文学特殊研究 <Specialized Studies in Japanese Literature>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)	開講期 Semester	開講時間帯 Day and time	
日本文学	大井田 晴彦(OIDA Haruhiko)	前期	木曜：4限	
講義題目 Title	源氏物語演習(1)			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	特になし。			
授業の目的 Purpose	日本文学の代表的古典『源氏物語』を、丹念に読み解き、古典の高い解釈力を身につけ、かつ古典文学・王朝文化に関する理解を深めることをめざすとともに、日本語（国語）に関するより専門的な知識を身につけることにも対応する。 The aim of this course is to help students acquire an understanding of the fundamental principles of Japanese classic literature by reading the Tales of Genji.			
授業の内容 授業の方法 Content	『源氏物語』「花宴」巻を、巻頭から少しづつ読み進めてゆく。担当者の作成した発表資料（写本の翻刻、校異、語釈、諸注釈の比較、現代語訳、考察）に基づいて、討議してゆく。 授業計画 第1回：『源氏物語』についての概説（1）成立 第2回：『源氏物語』についての概説（2）諸本と注釈史 第3回：「花宴」読解（1）如月の～をかしかりける 第4回：「花宴」読解（2）楽どもなどは～いかで漏りにけむ 第5回：「花宴」読解（3）夜いたう～慰めけり 第6回：「花宴」読解（4）わびしと～出でたまひぬ 第7回：「花宴」読解（5）桐壺には～思ひくらべられたまふ 第8回：「花宴」読解（6）その日は～置きたまへり 第9回：「花宴」読解（7）大殿にも～慕ひまつはさず 第10回：「花宴」読解（8）大殿には～いとおもしろし 第11回：「花宴」読解（9）かの有明の君は～もてなしたまへり 第12回：「花宴」読解（10）源氏の君にも～紛れ立ちたまひぬ 第13回：「花宴」読解（11）寝殿に～占めたまへるなるべし 第14回：「花宴」読解（12）さしもあるまじき～うれしきものから 第15回：「花宴」読解（13）まとめ			
教科書 テキスト Textbooks	写本（大島本）のコピーを用意する。その他、各自、活字の注釈書（新編日本古典文学全集・日本古典集成・角川文庫など）を用意すること。			
参考書 References	そのつど紹介する。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	担当箇所について可能な限り調べ、考えるのは当然だが、自分の報告でなくとも担当者をあてにせず、下調べをしておくこと			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	演習での報告・発表(60%) + 参加の姿勢(40%)。報告・発表は、調査が行き届いているか、論証に説得力があるか、新たな見解が示せたかについて評価する。参加の姿勢については、建設的なコメントをするなど、演習に意欲的に参加したかを評価する。			

連絡方法
Contact
information

メール。